

新年あけましておめでとうございます



日中友好協会
あかやま
題字 原田 親
No. 561
2009/1/5
日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山駅前3-8-30-514
TEL: (086) 272-3010
郵便振替口座
01250-0-3835
http://rizhong.web.infoseek.co.jp/

日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
〒103-0945 東京都千代田区
西神田2-1-1 東京学芸大学4階

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

あけましておめでとうございます

「アメリカいなり」大企業中心の日本社会が危機に瀕しています。解雇と失業問題、医療、介護、年金問題、農漁業と中小企業問題と、どの問題をとっても、直ちに打つ手と長期的政策(展望)を示さなくてはならない。

ところが、麻生首相は自己中心で「ナルシズム」に酔っているように、私には見えるのです。企業でも国家でも、責任者というものは、危機に際して、当面の政策と長期展望を労働者や国民に語らなければならぬ。自公政権を存続させてきたことは、日本国民の最大の不幸である、と私は思います。

カジノ資本主義は破綻しました。小泉純一郎、竹中平蔵、両氏の罪は大きい。地道にモノづくり」に励む経済を立て直さなければいけない。良い商品を安く売ることで国民が健やかに暮らしていける社会をつくらなければならない。

私は、新年早々、羊の歌」を読み直しています。過去に何があつたか、見定めるのが老人の任務」専門分化が進んで、全体として指示できる人が少なくなってくることは恐ろしいことと加藤周一氏は遺言しました。我が日中友好協会は、今年も地道に仲間を広げ、こつこつと正論を発していきましよう。

2009年元旦

日中友好協会岡山支部 支部長 宇野武夫

頌春

北京オリンピック、パラリンピックも終わった。今年は日中友好に落ちついて取り組めそう。内山完造の伝記がマンガ本で出た。よくできている。井原市出身の、わが日中友好協会初代理事長である。それを宣伝、主張するには、全県組織がいります。すな。ゆっくり、たしかにやりましよう。

2009年元旦

日中友好協会倉敷支部 支部長 大森久雄

日中友好協会全国理事会報告② 帰国者の自立支援と

日中友好に手を携えて

理事会一日目の午後と二日目の午前にかけて、中国帰国者・研修生問題について、活発な討議が行われた。

中国帰国者に対する新支援法」は、議案の中で多くの帰国者に適用され、経済面で大きく改善された。しかし、具体化と実施は、地方自治体に任されており、不慣れと従来の『生活保護』感覚の対応が少なからずあり、すべての帰国者に正しく適用されているとはいえない」と評価している。

続いて、この法の利点を生かした取り組みとして、兵庫の生活講座への補助金、同時に日本語教室に公的補助を受けているケースとして京都・岡山が紹介されている。また、帰国者と交流を強めている岡山の公民館主催の「お月見会」及び支援の輪を広げる岡山・倉敷の中国残留日本人孤児」問題の資料と写真展などの経験が、全国に広げる教訓として記述されている。

私は、この議案の内容を補強するため、中国帰国者問題を考える上で大切な二つの面を話した。一つは、地域における生活支援など帰国者の自立を手助け



発言する小林事務局長

する側面。

もう一つは、日中友好のためにも手を携えて歩む仲間(同志)としての側面。

この両面を正しく統一して、彼らの願いである「生涯友達だよね」に答えることが重要であると強調した。

具体的には、岡山での取り組みを三点述べた。

一、帰国者が多数居住している地域の公民館や福祉交流プラザと協力して双方向で、水餃子づくり・日中の文化交流・日本語教室」などに取り組んでいる。

二、同時に、県・市の担当者に「新支援法」の制定経過や精神について話し、具体化にあたっては、ともに知恵を出し合って、更に帰国者のためになる施策を実施するために協力している。

三、また、日中友好の面では、原告団の高杉団長が、自らの戦争

体験(孤児としての人生)の語り部として県下の高校などで講演した内容と生徒の次のような感想を紹介した。

中国人に対して今まで悪いイメージを持っていたが、高杉さんを育てた中国人養父母の優しさから、中国人のイメージが良くなった。

討議は、食やベット問題、四川大地震支援活動、中国語講座、太極拳、きりえ展、沙飛写真展などの文化活動及び組織強化活動、財政活動と多岐にわたった。

最後に、矢崎事務局長が、討議内容をふまえた、わかりやすいまとめ(十二月十五日付の日中新聞に記載)で、会は終わった。

小林軍治

孔乙己の思い出

倉敷支部の魯迅を読む会で「孔乙己」を読んだ。クンイーチ。思い出がある。

高校3年生の時、1957年秋ごろだったか。担任の内田先生が、その全文をほとんど読むようにして紹介してください。

科挙くずれの田舎の貧乏インテリ。魯迅の居酒屋で小僧に文字を教えながら嫌われる。代書、時に窃書で食いつないでいる。ある日、いざつて現れ、つけを残したまま姿を消す。

今も、まだ、思い続ける。先生は何を伝えられたかったのか。お尋ねする師はずでにいない。われわれの卒業と同時に大学へ移られ、三年後、急逝される。42歳。すでにして47年前である。

中途半端な学問はするなどのご忠告であったようだ。古来稀なる年に近づき、その意味をま

阿Qの世界へ

12月13日、倉敷支部は魯迅を読む会第5回例会を行った。

10月の岩間一雄氏講演の感想を交流し、阿Q正伝1〜3章を読み合わせた。清朝末、辛亥革命期の貧困層の面子、精神的勝利法……この先の展開が楽しみである。

山縣さんが入手された本邦初訳の阿Q正伝本が紹介され、一同感激した。読み、語り合い、阿Qの世界へ入っている。

大森久雄



理事会だより

12月13日午後、第6回理事会を開き7人参加しました。

☆経過報告

11月18日、長らく会計監査をさせていただいた砂子正さんがなくなりました。

12月5日には、憲法9条の会の加藤周一さんがなくなりました。

☆情勢

麻生内閣の支持率が下がりつぱ

社会心理学的観点

ポスト9・11の日本社会

以下は立命館大学教授、指宿信さんの講演(救援情報NO56) 08・2・1からの引用です。

少年犯罪の凶悪化キャンペーンが1990年代の後半から起こり(中略)しかし治安悪化のキャンペーンに対しては、専門家から(治安は悪化していない)ということが統計的・実証的に明らかにされ、今日では警察庁は(体感・治安が悪化している)と修正せざるを得なくなっています。実は統計的には日本の治安は良くなっているのです、(中略)殺人と強盗の認知件数を凶悪犯とした場合、人口比での凶悪犯罪発生率は戦後一貫して大幅に減少している。

1990年が戦後最低値を記録している。97年から05年間に急増している。(中略)この強盗の伸びはどのように形成されてきたかという点、警察庁が統計の取り方を変えたからだ。すなわち、ひ

なしです。凶悪犯6.1%減なのに不安をおおるマスコミ(別掲 社会心理学的観点)。

☆組織

08年1月から21人増えて22人減りました。会員・読者を増やすにはどうすれば?

①カレンダールの普及状況、本部へ完納、あと残部を支部の財政のために。

②前会長の「老牛破車のうた」¥2,500円を普及しよう。

③岡山市立の空襲平和祈念館へ向け署名20万筆にお力添えを。

つたくりを窃盗ではなく強盗、かつ上げも恐喝ではなく強盗へ分類することによって、この件数が伸びている。

竹内和夫 記

日中友好協会岡山支部

楽しく賑やかに望年会 もういくつねるとお正月



馬さん 竹原さん 竹内理事長 井上さん 河井さん 山根さん

「日本は南京で何をしたのか」

(71年間消える)とのない記憶)

戦争被害者の証言を聞く集い

12月9日(火)、岡山国際交流センターで南京証言集会実行委員会による、戦争被害者の証言を聞く集いが行われました。南京大虐殺から71年目、12回目の証言を聞く会です。

2007年12月17日にTBSのNEWS 23で放映された、南京戦に参加した元海軍兵士の生々しい証言を20分間見た後、中国から招いた、侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館・副館長・侯曙光さんと、南京大屠殺生存者・黄惠珍さんの話を聞きました。



侯曙光さんは、中国・日本・アメリカ・ドイツ・デンマークなど関係方面から3000余りの歴史写真、3500余りの歴史文物、動画映像149巻きなど大量の史実資料を展示していることを紹介しながら、前事不忘 後事之師ということわざのように、中日両国人民が手

を携え、歴史を銘記し、未来を切り開くことを心より願っています。共に頑張りましょう。」と結ばれました。

稲葉泰子

生存者の黄さんは、85歳の女性、お孫さんと一緒に来日ですが、自分が受けた屈辱的な経験を思春期を迎えている孫には聞かせられないと別々の部屋にすることを明かしました。革靴を履いた日本兵に隠れているのを見つけて強姦されたこと。男性は連れていかれ帰ってこなかったこと、戦後、結婚してからも、夫や姑に責められ2重の苦しみがあったことなど、戦後60年になつてやっと話す事ができるようになった。歴史の中に葬ってはいけないと勇気をだした、と話されました。

♪お正月にはタコあげて、ユマをまわして、あそびましょ、はやくこいーお正月

岡山支部の望年会が12月13日、25人の参加で飲んだり食ったり踊ったり話したり。

残留孤児益田さんのハーモニカ故郷、青木はるか、かなな姉妹のかわいいお遊戯 お正月……

高杉久治孤児原告団長のあいさつは、みなさんこんばんは、残留孤児高杉と申します。2008年が終わろうとしています。残留孤児にとつて良い一年でありました。新支援法が4月から施行され、満額の年金を受け取ることができました。生活保護は生活支援に変わりました。市役所は孤児1世帯に支援相談員をもうけてくれました。今年には多くの孤児たちは中国の養

父母のお墓参りが自由にでき、生活が改善されました。孤児の問題が今のようない結果になれたのも、皆さんの努力のおかげであり、4年間にわたった裁判に関しても支援をいただき本当にありがとうございました。今日私たちは、中国の料理水餃子を持ってきました。皆さん召し上がってください。

団体代表からのひとこと
日本語教室(井上進志 教室の発展にお力ぞえありがとうございます)。

日中倉敷支部(平井昭夫 倉敷支部3年になり、中国旅行や魯迅勉強会をやっています。西に新支部をつくりたい)。
国民救援会(竹原正樹)チャムス生まれです。憲法と世界人権規約を



平田さん 青木さん



青木はるかちゃん 西森さん 青木かなちゃん 青木由さん

生かす運動に力をそそいでいます。市議員団(林潤)中国語の勉強を始めます。市民の生活を豊かにするために、いっしょにがんばっています。

竹内和夫

次回の新聞送付作業は
1月13日(火)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

赤木剛
稲葉
小林
竹内和
竹内製